

- ◆企画名 大阪うまいもんツアー
 日程 平成25年10月20日(日)
 場所 大阪なんば、道頓堀、日本橋、新世界
 参加者数 19名(ピア・サポータ8名、日本人学生5名、留学生6名)
 目的

大阪の伝統ある食べ物を日本人と外国人留学生で交流を深めながら食べ歩き、活気のある街を体感してもらいながら、大阪の文化に触れてもらう。

内 容

○ 当日のスケジュール

10:00 企画開始 参加者集合、受付 説明

10:20 難波へ移動 阪急北千里線 天下茶屋行き 乗車

10:54 難波到着

11:10～ グループ行動開始

1班4、5名。その他にサポータ4名で構成したリーダー班を設け、司令塔役を務めるピア・サポータがグループリーダーとなり、随時他班やメンバーに連絡事項があれば連絡をする。移動中、各班は好きなように行動することができる。各班、戎橋筋商店街を通り道頓堀へ。道頓堀から法善寺周辺へ。千日前を通過し、道具屋筋へ。道具屋筋から日本橋を通過し、新世界へ。

14:30～ 全員、通天閣下へ集合 アンケート記入・回収 集合写真撮影

14:40 企画終了 地下鉄御堂筋、堺筋線 動物園前駅まで全員で移動 解散

感 想

私たちが住んでいる大阪には多様な食文化が根付いている。大阪に住んでいると案外行くことが少ない大阪ミナミへ留学生と日本人学生が一緒に出かけ食べ物を食べながら交流してもらうことがこの企画の目的であった。食に関連した企画であったため多くの応募をいただけたことはとても嬉しかった。参加の当日キャンセルが発生し予定していた人数に比べて少ない人数での企画催行となってしまったため、参加者の人たちに残念な思いをさせてしまった。企画では留学生と日本人学生の方々が非常に和気あいあいと交流されており、この企画の目的は達成されたものと思った。今回の企画は私を含めた一年次生二人を中心として実行したため不足する部分が多くこれから新たな企画に向けた有意義な経験になったと思う。

改善点

- * 参加者の集合時、企画者が忙しかったため、待っている参加者の相手ができず、ぐだぐだとした雰囲気になったこと
- * 企画者が二人だと人員不足だったこと
- * 参加者へ向けたハンドアウトなどを作って、参加者に企画の概要を知らせるべきだった
- * 当日参加のサポータの人に事前に内容を細かく知らせるべきだったこと
- * 当日までのメールのチェックを怠っていたこと
- * 企画者間での情報交換をもっと頻繁に、詳しく行うべきだったこと
- * 明確な集合時間を設定し、それを決行するべきだったこと
- * 確実な指示を出す人がいなかったこと
- * サポータをもっと動かして有効活用し、効率的に進行するべきだったこと
- * アンケートを配るタイミングを事前からよく考えるべきだったこと

